

# 大麦管理情報（収穫）

令和7年5月 日  
高岡市農業協同組合  
高岡農林振興センター

大麦の成熟期は、平年より（6日）遅く、昨年より（8日）遅い見込みです。ほ場ごとに登熟状況を確認し、適期に収穫できるよう準備を始めましょう。

貴地区の収穫適期は 月 日頃からです

- ◆子実水分が30%以下になったほ場から収穫しましょう。

## 収穫開始時期の目安

茎葉と子実のほとんどが黄化し、  
屈曲した穂の割合が50%程度になった時期



写真1 収穫開始時期の目安

- ◆カラスノエンドウなどの雑草は確実に抜取りましょう。
- ◆収穫前にコンバインの点検を行いましょう。
- ◆早刈りは、粒の充実が不十分で空洞粒になりやすく、刈遅れは、熟色不良や収穫ロス的重要因素となりますので、全ての穂が屈曲する前に収穫を終えましょう。



写真2 カラスノエンドウ

- ◆収穫作業のチェックポイント

作業のポイント	確認欄
1. コンバインの清掃・点検は行いましたか？	
2. カラスノエンドウなどの雑草は、確実に抜取りましたか？	
3. 収穫前の子実水分を、確認しましたか？	

## 大麦収穫後ほ場の管理

～麦あとの雑草管理を徹底し、カメムシの発生・増殖を防止～

- ◆麦あと大豆を作付けする場合
  - ・梅雨が本格化する前に大豆の播種作業を終えるため、「大麦収穫班」と「大豆播種班」の2班体制で作業するなど、大麦の収穫と平行して、大豆の播種を進めましょう。
- ◆地力増進作物や園芸作物などを作付けする場合
  - ・大麦収穫後から播種までの期間が空く場合には、雑草が出穂・繁茂しないように管理しましょう。
- ◆何も作付しない場合
  - ・大麦収穫後は、速やかに耕起または耕起・代かきを行い雑草の穂を土中に埋め込みましょう。その後も雑草が出穂・繁茂しないように随時耕起しましょう。

～農作業中の事故防止&熱中症対策をしましょう～

